

行政評価シート【分野別施策】

分野別施策 5 -

雇用の確保や多様な働き方を促進する

目指す姿

- 働きたいと思う仕事があり、フレックスタイム制度¹やリモートワーク²、時短勤務などの柔軟な働き方が一般的になっています。また、性別にかかわらず、それぞれが希望するキャリアを積み、向上心を持って仕事に取り組んでいます。

1 決められた総労働時間の範囲内で、始業や終業の時間を自分で決められる制度のこと。

2 オフィス以外の場所で働くこと。

成果指標の達成状況

指標名	実績値					目標値
	計画 策定時	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2027 年度
正規雇用促進補助件数【累計】	229 件	322 件				429 件
合同就職面接会に参加した市内 企業数【累計】	98 社	141 社				223 社
合同就職面接会等参加者数【累 計】	396 人	676 人				821 人

施策の推進に向けた主な取組の「成果」

- ・ 個別就労相談、近隣自治体と連携による企業合同就職面接会を開催するほか、企業向けの採用力強化セミナーや合同会社説明会を実施するなど求職者と企業のマッチング機会を創出するとともに、企業の採用力向上を支援しました。
- ・ 勤労者向け生活資金融資制度を継続して低金利で利用できるよう預託条件を見直し、勤労者の生活基盤の安定と向上に寄与しました。

施策を推進する上での「課題（・）」と、課題解決を図るための「取組方針（）」

- ・ 場所や時間、性別などにとらわれない働きやすい環境を構築しつつ、企業の人手不足を解消する必要があります。
- 事業主・勤労者の労働問題、労働環境などに対する知識・理解を深めるとともに、仕事と家庭

を両立しやすい労働環境の整備を促進します。また、企業と求職者のマッチング機会を創出するとともに、採用力の向上を支援することで、雇用のミスマッチの解消を図ります。

- ・勤労者の生活の安定と向上を図る必要があります。

制度の見直しも踏まえつつ、融資件数や市場の動向を注視し、継続して支援を実施します。

関連事業

就労支援事業、総合評価・インセンティブ入札事業、勤労者金融支援事業

決算額

	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
事業費（千円）	76,941			